

平成 29 年度 御幸が原小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人権尊重の精神を基盤に、児童が自立と共生を果たし、これからの時代を生涯にわたり創造的にたくましく生き抜くための「人間力の基礎」を培う。

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

児童の成長には、良き人との出会いと望ましい集団、心地よい空間が不可欠であることを踏まえ、教職員が英知と熱意を結集し、家庭・地域と共に一体感のある活力に満ちた教育活動を展開する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) ○児童が教師に安心感や信頼感が抱けることを第一に、多面的な児童理解と認め励ます指導に努める。
- (2) ○児童が主体的に、よりよい学級・学校づくりに向けて活動・活躍する場を、教師が意図的に仕組む。
- (3) ○分かりやすく、学ぶ(学び合う)楽しさや喜びを実感できる授業を通して、学力の向上を図る。
- (4) 保護者との良好な関係構築に努め、共に児童の成長に携わる者として連携を図る。
- (5) 地域の教育資源を積極的に活用し、指導の効果を高める。
- (6) 教職員相互の闊達な交流と協働による、チームとしての教育力向上に努める。
- (7) ○鬼怒地域学校園の小・中学校と連携した取組の一層の充実を図る。
- (8) 常に課題意識をもって校務の工夫と改善に努め、学校組織の機能向上に努める。
- (9) 校務に係る「標準化モデル」に基づく校務運営を推進する。

[鬼怒地域学校園教育ビジョン]

自立 ～よりよい判断をし、学習や学校生活に意欲をもって取り組む子どもの育成～

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

- ・校務改善の取組による効率的・効果的な学校運営
- ・積極的な情報発信と、家庭・地域・外部の関係機関との連携強化

【 学 習 指 導 】

- 授業力の一層の向上と学習内容の定着を図るための指導の強化
- ・主体的・対話的で深い学びを追求する授業づくりの推進
- ・個に応じた指導の工夫と学習内容の定着を図る指導の強化

【 児 童 生 徒 指 導 】

- 自他を大切に、相互に認め励まし合う児童の育成
- ・よりよい学級・学校づくりへの児童の参画意識と行動力を高める指導の一層の充実

【健康（保健安全・食育）・体力】

- 健康な体づくりと安全への意識・態度を高める指導の強化
- ・食育の推進と健康・安全への意識・態度を高める指導の徹底

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
学校運営の状況	<p>A 1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 児童が意欲的に活動できる学校行事の計画・実施に努めるとともに、<u>児童会・委員会活動など児童の主体的活動を積極的に展開する。</u> ・代表委員会を中心とした委員会活動の活性化</p> <p>② 異学年・幼児・高齢者・地域・学校支援ボランティアなどとのふれあいの機会や交流活動の充実を図る。 ・ふれあい活動の充実</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>88.9</td> <td>91.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>達成率は、3ポイント近く上昇しており、各委員会の活動内容の充実が、児童のやる気につながっている。また、各行事をとおして多くの人とふれあう機会が増えた。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の活動内容をふまえ、継続を基本としながら、更に活動の充実を図る。行事の精選と改善を図る。ボランティアの方々との交流を今後も継続していく。</p>		H28	H29	児童	88.9	91.7		
		H28	H29									
	児童	88.9	91.7									
	<p>A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 児童一人一人を見取り、声をかけ、よく話を聴き、よいところは認め、指導すべきところはきちんと指導する。 ・朝、教室で児童を迎える ・児童の話を聴く姿勢を第一に</p> <p>② 保護者との連絡・連携を密にして信頼関係を築き、児童理解や児童指導に生かす。 ・学級懇談や学年だより等の活用 ・連絡帳や電話等での連絡・連携</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>96.2</td> <td>97.4</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>87.2</td> <td>94.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童・保護者からの相談や要望に対する丁寧な対応を心がけてきたことで、信頼関係の構築につながった。</p> <p>【次年度の方針】 児童とのコミュニケーションを大切にするとともに、保護者と連絡を取りやすい人間関係づくりに努める。</p>		H28	H29	児童	96.2	97.4	保護者	87.2
	H28	H29										
児童	96.2	97.4										
保護者	87.2	94.4										
<p>A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 「みはらのきまり」をもとに週の生活目標を設定し、全職員が同じ姿勢で指導や支援にあたる。 ・週の目標は行動目標とし、同一步調で指導にあたる。 ・「みはらのきまり」と「めざせ スーパーみはらっ子」や「ソーシャルスキルかるた」（実態に応じて活用）との関連を図る。</p> <p>② 全職員の共通理解の下、全校体制で組織的に支援に当れるよう、報告及び情報交換を確実にやっていく。 ・児童の情報交換会や児童指導部会（毎月）の実施</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>71.0</td> <td>81.7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>59.5</td> <td>85.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>「みはらのきまり」と「めざせ スーパーみはらっ子」を関連させ、委員会活動の中に取り入れながら実践した結果、児童の規範意識が向上した。昨年と比べ、達成率も10ポイント以上向上した。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、「めざせ スーパーみはらっ子」の活動を活発化させるとともに、委員会の活動に関連させ、児童の自発的な行動を促していく。</p>		H28	H29	児童	71.0	81.7	教職員	59.5	85.7
	H28	H29										
児童	71.0	81.7										
教職員	59.5	85.7										
<p>A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○① 指導目標を明確にし、分かる授業を目指して指導法の工夫や教材教具の工夫に努める。 ・学習課題の明確化 ・板書の工夫 ・「分かる授業」チェックリストの活用</p> <p>② T Tや少人数・習熟度別による指導を充実させ、成就感を味わわせるとともに補充のための学習を充実させる。（3学年～）</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>94.4</td> <td>96.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>一人一授業の実施や校内研修により、コミュニケーションを充実させる取組の共通理解が進んだことが95%を超える達成率につながったと考えられる。「めあて」で学習活動の明確化を図り、「まとめ」「ふりかえり」を重視した授業展開にした点も奏功した。</p> <p>【次年度の方針】 一人一授業を継続して実施し、「分かる授業・楽しい授業」を目指す。 児童の実態を把握した上での少人数指導や習熟度別学習など、学習形態を工夫し、きめ細かな指導を行う。</p>		H28	H29	児童	94.4	96.9			
	H28	H29										
児童	94.4	96.9										

<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」 ⇒教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① いじめの早期発見・早期対応のためのアンケートを実施し（年6回）、気になる児童への教育相談を行う。</p> <p>② いじめゼロ強調月間（5月・9月）の取組を実施し、いじめは決して許されないことを理解させる。また、いじめゼロ委員会の活動により、児童の自発的な活動を促す。</p> <p>③ いじめ対策における学校での取組みを、学校だより等で保護者に伝え、連携を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>97.3</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>いじめアンケートや教育相談時のアンケートにより、早期発見に努め、気になる児童には随時相談を行ってきた。また、いじめゼロ委員会やあいさつ委員会が休み時間に校内を回り、声かけを行った。</p> <p>【次年度の方針】 今後もアンケートを継続実施して早期発見に努める。また、いじめゼロ委員会の活動を活発化させ、いじめを許さない雰囲気児童間で作っていけるよう支援していく。</p>		H28	H29	教職員	97.3	100			
	H28	H29									
教職員	97.3	100									
<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○① 学校評価を踏まえた教育課程を確実に実施し、学校行事・授業参観の実施後、職員間での話し合いや保護者によるアンケート等により、工夫改善を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>88.4</td> <td>91.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>学校全体として、児童が落ち着いて充実した学校生活を送ることができた。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き児童が安心して充実した学校生活を送ることができるように、教育課程の見直しと適切な実施を目指す。</p>		H28	H29	児童	88.4	91.9			
	H28	H29									
児童	88.4	91.9									
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学校だより、学年だより、ホームページ等で、必要な情報を積極的に発信する。</p> <p>② 「うつつのみやオープンスクール」を含め、学校公開日に地域の参加者が多くなるよう呼びかけを工夫・強化する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>96.0</td> <td>96.0</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>87.5</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>ホームページの内容充実により、保護者や地域の多くの方々に学校からの最新情報を発信することができた。</p> <p>【次年度の方針】 各種たよりによる積極的な情報発信を今後も継続していくとともに、ホームページでの各学年からの情報も内容の充実を図る。</p>		H28	H29	保護者	96.0	96.0	地域	87.5	100
	H28	H29									
保護者	96.0	96.0									
地域	87.5	100									
<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、地域や企業の方々と一緒に活動したり勉強したりすることで、学習が充実し楽しい」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 「魅力ある学校づくり地域協議会」と積極的に連携・協力し、学校運営の充実を図る。</p> <p>② 企業や専門家派遣の出前授業、街の先生、学校支援ボランティアを活用した授業を各学年1回以上実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>90.0</td> <td>93.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>学年ごとに出席授業等を企画し、地域人材や外部企業を活用することで教育活動の内容充実につながった。</p> <p>【次年度の方針】 児童が地域とのつながりを意識できる取り組みを充実させるとともに、回数や前例にとらわれず、質の向上に努める。</p>		H28	H29	児童	90.0	93.5			
	H28	H29									
児童	90.0	93.5									
<p>A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすい環境である」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 清掃の行き届いた校内を目指し、清掃活動に力を入れる。 ・学級中心の班での清掃活動 ・清掃用具の後片付けの徹底 ・身支度の徹底や反省の仕方の見直し</p> <p>② 教室掲示（黒板上）の統一</p> <p>③ BGMの効果を教育活動に生かし、落ち着きと潤いのある学校環境に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>72.8</td> <td>83.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>84.9</td> <td>88.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>「めざせ スーパーみはらっ子」の活動に関連させたことで、校内環境美化に対する児童の意欲を高め、清掃活動の様子はさらに良くなってきた。</p> <p>【次年度の方針】 ほうきの使い方や雑巾の絞り方、拭き方などの清掃に関するスキルを年度の始めに各学級で指導し、効率の良い清掃の仕方も併せて指導していく。</p>		H28	H29	児童	72.8	83.0	保護者	84.9	88.5
	H28	H29									
児童	72.8	83.0									
保護者	84.9	88.5									

教育活動の状況	<p>A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、小学校と中学校が連携した取組を主体的に行っている。」 ⇒教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 地域学校園各部会・分科会毎に今年度の基本方針を受けた取組の充実を図る。</p> <p>② 5校連教育講演会や全体研修会の実施により、小中の相互理解を深める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td></td> <td>100</td> </tr> </table> <p>地域学校園における各分科会が、中学校と小学校の大切な情報交換の場となっていた。</p> <p>【次年度の方針】 鬼怒地域学校園としての連携やまとまりを意識しながら、各自が所属する分科会での活動を基盤に取り組んでいく。</p>		H28	H29	教職員		100					
		H28	H29											
	教職員		100											
<p>B1 学校は、人権尊重及び自他の生命や存在を大切にしている児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生は、自分の話や悩み・相談などを真剣に聞いてくれる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① どの子にも居心地のよい学級づくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間1回、授業参観時に道徳の授業を実施 年間35時間、道徳の授業時間の確保 Q-Uテストの実施、事例研究会実施、活用 <p>② 人権教育を全校体制で推進し、自他を大切に思う心や態度・実践力の育成に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>92.4</td> <td>95.1</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>80.5</td> <td>88.2</td> </tr> </table> <p>各学級で自他を大切にすることを育むための指導や取り組みを積み重ねたことにより、昨年度に比べ、達成率が向上した。</p> <p>【次年度の方針】 児童同士が互いに認め合える活動を各学級で必ず取り入れ、継続して行っていくようにする。そのために、人権教育担当から活動例を紹介する。</p> <p>(例)○帰りの会で、児童同士「いいところ探しカード」を書いて交換し合う。 ○友達の善行を発表し、称賛する。</p>		H28	H29	児童	92.4	95.1	保護者	80.5	88.2			
	H28	H29												
児童	92.4	95.1												
保護者	80.5	88.2												
<p>A11 児童は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童・教師・地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 児童会（あいさつ委員会）が中心となってあいさつ運動を実施する。（毎週金曜日の朝実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校だより・学級懇談会であいさつ励行を保護者に伝える。 「めざせ スーパーみはらっ子」カードの活用。 あいさつ標語・ポスターの募集。 <p>② 地域連携及び地域学校園で共通課題として、あいさつ運動を展開する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>79.8</td> <td>91.3</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>52.6</td> <td>94.3</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>83.3</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>「めざせ スーパーみはらっ子」カードの活用と併せて、「相手に伝わるあいさつ」の励行を行ってきた。委員会や地域協議会とも連携して行ってきた成果が出てきている。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、児童会（あいさつ委員会）が中心となってあいさつ運動を実施する。（毎週火曜日の朝実施） 「めざせ スーパーみはらっ子」の活動も継続し、カードをもらえた児童を放送するなど、称賛する機会を設ける。</p>		H28	H29	児童	79.8	91.3	教職員	52.6	94.3	地域	83.3	100
	H28	H29												
児童	79.8	91.3												
教職員	52.6	94.3												
地域	83.3	100												
<p>A12 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒児童・教師・地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 発表の仕方、敬語の使い方等について学年の発達段階に応じた指導をする。</p> <p>② 「ふわふわ言葉」「学級で使っていきたい言葉」をもとに、思いやりに満ちたコミュニケーションの醸成を図るとともに、学校だより等で保護者に伝える。</p> <p>③ 国語・道徳等で正しい言葉遣いについて指導をする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>69.2</td> <td>77.4</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>44.7</td> <td>85.7</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>95.8</td> <td>90.5</td> </tr> </table> <p>「めざせ スーパーみはらっ子」の活動と関連させて、正しい言葉遣いについての指導を行ってきた結果、児童自身が意識して生活できるようになってきた。</p> <p>【次年度の方針】 「めざせ スーパーみはらっ子」の活動を継続していく。授業でも正しい言葉遣いについて指導していく。</p>		H28	H29	児童	69.2	77.4	教職員	44.7	85.7	地域	95.8	90.5
	H28	H29												
児童	69.2	77.4												
教職員	44.7	85.7												
地域	95.8	90.5												

<p>B2 児童は、健康に気をつけて生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、自分の健康に気を付けて生活している。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 昨年度の生活についての実態調査をもとに（特に睡眠時間・食生活）、家庭との連携を図り啓発や指導をする。（学年だより等で結果や指導について取り上げる。）</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>78.5</td> <td>85.7</td> </tr> </table> <p>養護教諭が中心となり、健康に関する情報発信や家庭への呼びかけを行った。家庭の理解と協力を得たことで目標達成ができた。 【次年度の方針】 今後も、教職員が連携して、児童が自分の健康に関心をもって生活することができるよう、意識を高めていく。</p>		H28	H29	保護者	78.5	85.7			
	H28	H29									
保護者	78.5	85.7									
<p>A13 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している。」 ⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○① 自ら体力作りに励めるように体育や学校行事・特別活動等の工夫に努める。 ・みはらチャレンジギネス ・マッチョマンだよりの発行 ・外遊びの励行</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>87.8</td> <td>87.0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>89.2</td> <td>94.3</td> </tr> </table> <p>達成率はあまり変わっていないが、様々な取組で運動への意欲喚起を継続したことにより、児童が進んで運動しようとする意識を持つことができるようになってきている。 【次年度の方針】 体育的な活動の継続とともに、学級担任から外遊びを呼びかけるなどして、運動する習慣を更に身に付けていく。</p>		H28	H29	児童	87.8	87.0	教職員	89.2	94.3
	H28	H29									
児童	87.8	87.0									
教職員	89.2	94.3									
<p>A14 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、自分は、好き嫌いなく食べている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 食育の充実を図る。 ・教育相談を活用した個別指導の強化 ・各教科での食に関する指導 ・給食だよりの発行 ・お弁当の日の活用 ・好き嫌い克服メニューの工夫</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>69.5</td> <td>70.9</td> </tr> </table> <p>目標達成には至らなかったが、栄養士や食育担当を中心に、児童が栄養バランスに関心をもって毎日の食事をするような取組を継続してきており、少しずつ児童の意識は向上している。 【次年度の方針】 各教室で子供が苦手な食べ物を食べられたこと等を励ますとともに、給食週間の頑張りカードを利用して食への関心を更に高めていく。</p>		H28	H29	児童	69.5	70.9			
	H28	H29									
児童	69.5	70.9									
<p>B3 児童は、運動能力向上に向けて自身の体力について考えている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、体育の授業などで、自分の記録や技を伸ばそうと努力をしている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 水泳検定・縄跳び等のカードを有効に活用する。 ② 新体力テストの結果から自身の運動能力向上に向けた能力向上への手立てを教師が提示したり、自分で考えたりする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>84.2</td> <td>87.4</td> </tr> </table> <p>昨年度からさらに達成率が上がり、先の取組を継続してきた成果が表れている。 【次年度の方針】 水泳・縄跳び等のカードの活用を継続する。新体力テストの結果から運動能力向上に向けた手立て（マラソンカード等）を工夫・提示し、さらに運動への意識を高めていく。</p>		H28	H29	児童	84.2	87.4			
	H28	H29									
児童	84.2	87.4									

学
習

A15 児童は、進んで学習に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は、授業中進んで話し合い分かりやすく発表するなど、積極的に学習している」
⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上

A16 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は、授業中話をよく聞くなど落ちて学習している。」
⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上

B4 児童は、本の楽しさを味わっている。
【数値指標】
全体のアンケートの「児童は、読書を楽しんでいる。」
⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上

本校の特色・課題等

B5 学校は、「自分を伸ばし、仲間と伸びる児童」を育てる教育活動を工夫している。
【数値指標】
全体アンケートの「学校は、『自分を伸ばし、仲間と伸びる児童』を育てるために、児童会活動の活性化に努めている。」
⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上

- ① 漢字の読み書きや計算力定着を図る指導の充実を図る。
 - ・朝の国算チャレンジタイムを活用した学習支援の充実（国語ドリルなど）
 - ・宮っ子ステップアップシートの活用
- ②家庭学習習慣の確立のための工夫を図る。
 - ・「みはらっ子家庭学習の手引き」の活用
 - ・保護者への協力依頼
 - ・自主学習ノートの活用
- ③ 話し合いの仕方の指導
 - ・話し合いの意図的な設定と工夫

- ①基本的な学習態度・技能（聞く・話す）の育成に努める。
 - ・「話し方」「聞き方」の合言葉を作成し、教室掲示をして活用する。
- ② 学びに向かう集団づくりのための学級経営の充実を図る。
 - ・自由に情報や意見を交換し合う場の意図的な設定
 - ・自分の考えを的確に表現し、他者の考えを尊重し生かす能力と態度を育成する。
 - ・クラス目標の掲示とその達成に向けた全員での協力と努力

- ① 読書意欲の向上を図るための環境・指導の充実を図る。
 - ・担任・司書嘱託員やボランティアによる読み聞かせの充実
 - ・みはら読書タイム・図書まつり（委員会）・お話し会
 - ・家読のすすめ【親子読書等】

- ① 児童の発想を生かした児童会活動や、仲間と力を合わせて取り組む学校行事の内容充実を図る。
 - ・あいさつ運動や地域清掃活動等、児童の発想を生かした委員会活動
 - ・児童によるスローガン募集と運動会運営
 - ・募金活動等

【達成状況】

	H28	H29
児童	84.5	89.0
教職員	91.9	97.1

児童・教職員のいずれの達成率も大きく上昇している。国語ドリルの導入や自主学習ノートの活用を広めたことが、学習全般への前向きな取り組みに反映したものと考えられる。

【次年度の方針】

漢字の読み書きや計算力定着を図るために、左記の学習を継続して充実を図る。家庭学習の定着を図るために、自主学習ノートの活用を保護者へ一層啓発したり、学級活動等で、話型を習得するための方法を工夫したりする。

【達成状況】

	H28	H29
児童	77.1	79.9
教職員	86.5	97.1

達成率が、教職員は9ポイント近く上昇したが、児童は微増であった。これは、コミュニケーションを核とした職員研修を重ねたが、指導が浸透しきっていない状況とも考えられる。落ち着いた雰囲気での授業に取り組む姿は各学年や学級で認められており、今後の伸びが期待できる。

【次年度の方針】

学びに向かう集団づくりのために、誰の話であっても、しっかり最後まで聴く指導を行い、聴く力の向上を目指す。またその基礎となる温かく受容的な学級の雰囲気を醸成する。

【達成状況】

	H28	H29
児童	83.1	78.7
保護者	63.2	61.5

児童・保護者ともに達成率が下がっている。昨年度を振り返り、図書委員会での活動を見直し、縮小した部分はあった。読書そのものに対する児童の姿勢に変わりはないので、反省をもとに指導内容を工夫する。

【次年度の方針】

必読図書紹介を再開し、定期便として学級を巡回させるシステム等を企画する。「図書まつり」は、委員会が中心となり新しい構成で企画できるように指導する。多読の成果を称賛する企画をする。（保護者への啓発も含む。）

【達成状況】

	H28	H29
保護者	76.2	80.1
地域	100	94.1

児童が使命感をもって委員会活動やボランティア活動に取り組むことで、学校生活の充実につながった。特に、代表委員会の活動を低・中学年にも広げた今年度の取組は充実したものとなった。

【次年度の方針】

様々な活動の場面において、児童の発想を生かす機会を増やしていく。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 昨年度の結果と比較すると、全体的に、児童・保護者・地域・教職員の肯定的回答の割合がいずれも大きく上回った。
- ・ 「学校が明るくいいきと活気がある」「教職員が協力して熱心に指導している」については、全対象で9割以上の肯定的回答となった。家庭や地域と連携した豊かな学習活動を工夫したり、「地域のひと・もの・こと」に繰り返し触れ合うことで交流を深めたりすることができ、児童が自信と意欲をもつことができた。
- 「授業と生活のきまりやマナーを守る」については、全対象で肯定的回答の割合が昨年度を大きく上回った。「めざせスーパーみはらっ子」の取組等を全職員で改善を図りながら継続してきたことにより、児童が自らきまりやマナーを意識して生活できるようになった。
- 言葉遣い・食育については、全対象において目標値に達することはできなかったが、今後も保護者・地域・地域学校園との連携を更に図ったり、外部講師・外部企業を生かした学習活動を工夫したりしながら、児童が自ら意識したり関心をもったりするような取組を展開していく。

6 学校関係者評価

- ・ 今年度も、肯定的回答の割合が非常に高く、学校の教育活動や取組についてご理解をいただくとともに、教育活動の質の更なる向上のため、積極的にご協力を得ることができた。
- ・ 廊下に掲示・展示してある児童の作品を見て、素晴らしい才能や力を感じました。
- ・ 学校のホームページが更新されていて、学校の様子がよく分かりました。
- ・ 自分たちで考えながら答えを導き出す授業展開がなされていました。
- ・ 児童は落ち着いて学習に取り組んでいるが、話をしっかりと聞けない児童も見られた。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 来年度も、教職員が自らの資質向上に努めるとともに、「分かりやすくきめ細かな授業づくり」や「互いを大切にする安心感のある学級づくり」にチーム力を生かして取り組んでいく。
- 正しい言葉遣い、食育、規則正しい生活については、家庭・地域・地域学校園との連絡を密にし、地域ぐるみで、気持ちのよいあいさつや正しい言葉遣いの習慣化を図るとともに、食育についても家庭や地域学校園との連携を図りながら様々な取組を工夫していく。
- ・ 今後も、地域協議会の皆様からご意見・ご支援をいただきながら、学校教育活動全体に渡る質の向上を図っていく。また、学校も、地域行事等への積極的参加を通して、保護者や地域との交流を深め、「お互いに顔がわかる関係づくり」に努め、社会に開かれた教育課程の展開を目指す。